

(公社) 畜産技術協会主催
アニマルウェルフェア
シンポジウムin東京

2024.12.13

公益社団法人日本動物福祉協会
獣医師・調査員 町屋 奈



動物福祉

動物の人への利用を否定しないが、動物に
快適な飼養環境及び管理をすること

- 動物の生活の質に配慮し向上させること -



産業動物の福祉に配慮した飼養管理



「5つの自由」の遵守

著しく行動制限された飼養管理の改善



「食の安全・安心」に動物福祉は含まる！

劣悪な飼養環境・管理では動物の状態も悪い



過度のストレス、免疫力低下、感染症罹患率上昇など



抗生剤などの薬剤多用、不健康な家畜増加



薬剤耐性菌問題、不健康な家畜から生産される畜産物

※ 家畜の糞尿（抗生物質等が混入した糞尿）→堆肥として使用（土壌汚染）→野菜等汚染→人間の薬剤耐性菌問題

循環型農業は動物福祉が配慮されてこそ成立

One Welfareという概念

動物の福祉と人間の福祉と
環境保全は繋がっている



日本の動向

2002年 農業と動物福祉の研究会設立（任意団体）

2014年 アニマルウェルフェアの考え方に対応した
家畜の飼養管理指針（畜産技術協会）

2016年 AWFCJ設立（任意団体）

2016年 AW畜産認証（アニマルウェルフェア畜産協会）

2021年 鶏卵汚職事件

2022年 AWに関する意見交換会開催（農林水産省）

2023年 WOA Hコードに沿った新たな家畜の飼養管理指針
（農林水産省）

日本のアニマルウェルフェアはスタートライン

日本の課題

- 生まれてから畜産物になるまで、管轄省が変わるため複雑
農林水産省（農場・輸送）厚生労働省（と畜場～畜産食品）
環境省（動物愛護及び管理に関する法律）
- 生産者等に動物福祉の概念及び必要性が浸透していない
 - ・（一部の生産者は）動物虐待のような飼養管理をしている
 - ・ 特に従業員まで浸透していない
- 消費者の関心が低い
 - ・ 安い商品を求める傾向
 - ・ 「食の安心・安全」の考えに動物福祉が入っていない
- 薬剤耐性菌の問題（畜産物及び土壌汚染） ⇨ 公衆衛生（環境）の問題
- 農水省作成の「AWに配慮した飼養管理指針」に強制力がない
- AWや不適切な飼養管理等について相談できる機関がない など



EUの動向

1986年 英国でBSE第1号認定 👉 AWが大きく進展したきっかけ

1986年 「バタリー採卵鶏の保護基準」指令（99年改正）

1999年 アムステル条約特別議決書「**家畜は感受性のある存在**」明記

1999年 採卵鶏バタリーケージ廃止（2010年までに）を決定

2006年 リスボン条約第13項「**動物は感受性のある存在**」明記

2012年 採卵鶏バタリーケージ全面禁止（→改良型ケージへ移行）

2013年 豚妊娠ストールを禁止

（種付け後4週間までと、分娩1週間前以降を除く）

2021年 畜産分野でのケージの使用の段階的な禁止を求める決議を採択



米国の動向

繁殖豚の妊娠ストールなど著しい行動制限のある飼養方法禁止

・アリゾナ,CA,マサチューセッツ,ミシガン,ニュージャージー,メイン,コロラド,フロリダ,オレゴン,ロードアイランド

子牛の著しい行動制限のある飼養方法禁止

・アリゾナ,CA,マサチューセッツ,ミシガン,ニュージャージー,コロラド,ケンタッキー,メイン,オハイオ,ロードアイランド

ケージフリー及び（又は）飼養面積1~1.5平方フィート/羽の義務化

・アリゾナ,CA,マサチューセッツ,ミシガン,ネバタ,コロラド,オレゴン,ロードアイランド,ユタ,ワシントン

ケージフリー卵生産量 約34% (2022)

👉 約40% (2024)

なぜ、欧米ではケージフリーが進んだか

発端は動物愛護団体等によるロビー活動

消費者の産業動物の福祉への関心が高い
(「食の安全・安心」＝動物福祉への配慮)



需要が高いため生産が増える



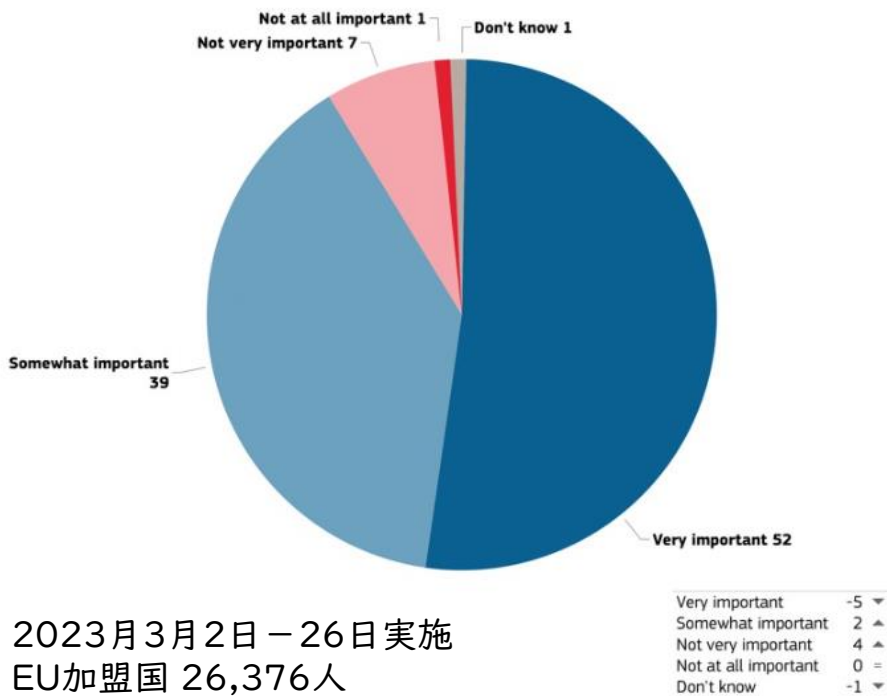
法規制



EU消費者の意識調査

— Special Eurobarometer on AW —

QC2. In your opinion, how important is it to protect the welfare of farmed animals (e.g. pigs, cattle, poultry, etc.) to ensure that they have decent living conditions? (EU27) (%)



家畜の福祉：とても重要52%
重要39%

91%

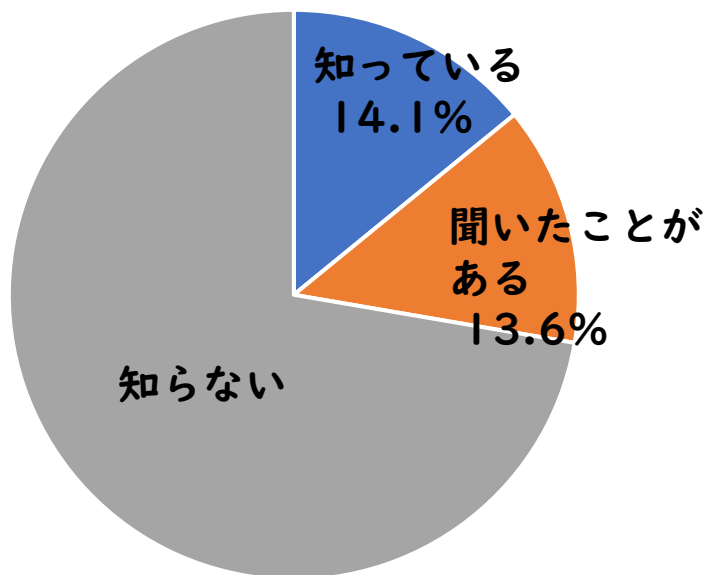
- 84%がペットを含む動物の福祉の向上を望んでいる
- 67%が動物の飼養状況についてもっと情報を得たいと考えている
- 83%が商業目的の輸送時間を制限すべきだと考えている
- 88%が屠殺時の動物福祉を改善することが重要である
- 62%がEUの動物福祉規則はEU域外からの輸入にも適用されるべきだと考えている。
- 60%は動物福祉に配慮した製品に高いお金を払う用意がある
- 26%は動物福祉に配慮した食品には最大5%高い金額を支払う用意がある
- 43%は動物福祉製品の選択肢が不十分だと考えている
- 10人中8人は畜産業者には十分なスキルとトレーニングが重要だと考える

2023年3月2日－26日実施
EU加盟国 26,376人
対面式又はビデオ調査

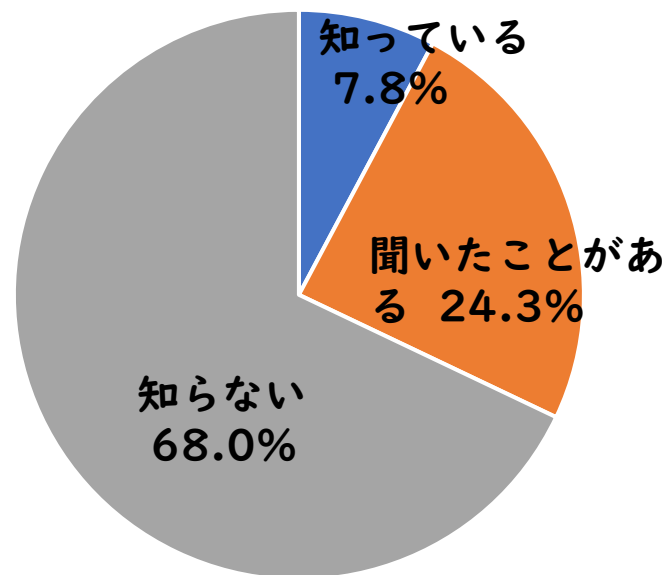
日本の消費者の意識調査

- AWという言葉を知っていますか？ -

市民アンケート



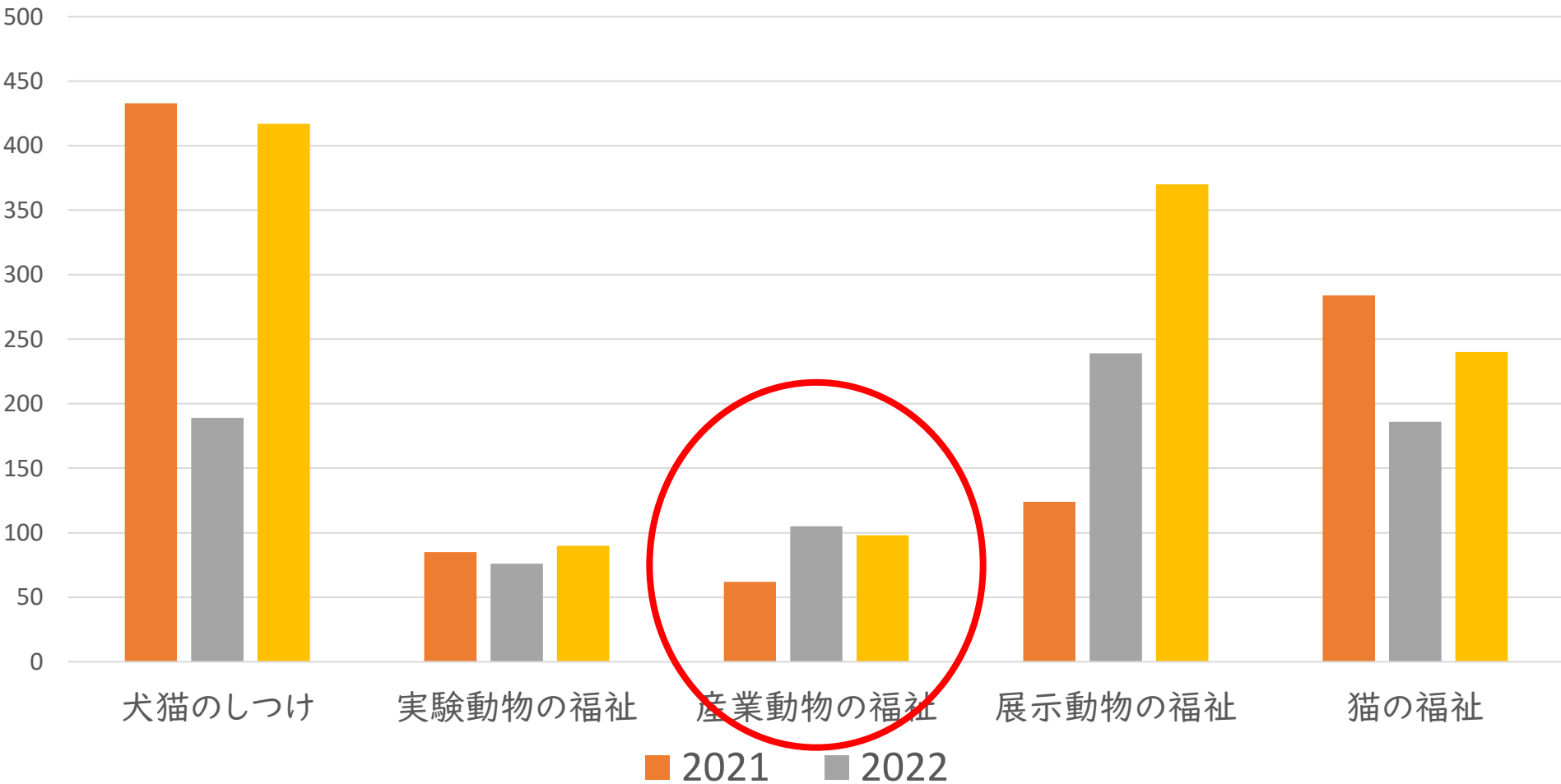
平飼い卵直売所店頭アンケート



n = 184

■ 知っている ■ 聞いたことがある ■ 知らない ■ 知っている ■ 聞いたことがある ■ 知らない

JAWS動物福祉市民講座テーマ別視聴回数



日本の消費者の意識向上のために

AWを知る機会の提供（啓発など）

消費者にスーパーなどで選択する機会を与える



産業動物の飼養環境を考えるきっかけに

畜産製品の飼養（生産）方法の表示を義務化



United Egg Producers (米国鶏卵生産者協同組合)

Guidelines for Cage-Free Housing



**Animal Husbandry
Guidelines for U.S.
Egg-Laying Flocks**

2017 Edition

Copyright 2017 United Egg Producers
All Rights Reserved (b)

2002年：

UEP認定バッテリーケージガイドライン作成

2006年：

UEP認定ケージフリーガイドライン作成



UEP認証および

UEP認証ケージフリー

これらのロゴが付いた卵は、最適な鶏の福祉を確保するために、UEP認定またはUEP認定ケージフリーガイドラインに従っている農場で産まれたものです。ガイドラインは独立した科学諮問委員会によって作成され、継続的な改善のために更新されています。すべてのUEP認定卵生産者は、独立した監査人による年次監査を受けており、毎年少なくとも25%の産卵鶏舎が監査のために無作為に選ばれます。

United Eggs Producers (UEP)

採卵鶏生産者の協同組合として 1968 年に設立。

- 1999年：独立した科学諮問委員会を設置。
- UEP認定バッテリーケージガイドラインとケージフリーガイドライン作成
- 米国内の卵の 90% 以上は、UEP 認定制度に参加した農家から生産。

2002年：UEP認定バッテリーケージガイドライン作成

2006年：UEP認定ケージフリーガイドライン作成



認証制度

フランスのスーパー

Code3 改良型ケージ
Code2 平飼い(3段まで)
Code1 放牧あり
Code0 有機

EU：卵殻へ表示義（2003～）

- ・ 飼養形態（0-3）
- ・ 生産国/地域
- ・ 生産者番号
- ・ 消費期限

※ EU基準



表示義務以降、ケージフリー卵購入増加

提供：日本獣医生命科学大学名誉教授 植木美希先生

日本で飼養形態の表示を進めるために

案1) 畜産団体等で、各ガイドラインを作成し認証

案2) 政府でガイドラインを作成し、義務化 など



消費者への周知や小売業界の協力が必須

AWに配慮した畜産食品の認証制度

英国王立動物虐待防止協会（RSPCA）のASSURED FOOD



日本でAW認証制度の実現するために

- 案1) 第三者機関である獣医畜産系の大学が中心に企画作成
- 案2) JGAP、AWFCJなどの既存の認定制度を改正活用
- 案3) 各地方自治体が認証制度(ex.やまなしAW認証制度)策定
など



広く周知・定着させるには畜産団体、小売り業界等の協力は必須
開発及び運用費用の捻出

著しい行動制限のある飼養管理方法の 段階的（計画的）な改善の検討

例) バッテリーケージの一羽あたりの飼養面積を拡大
(ケージ飼養管理基準作成など)

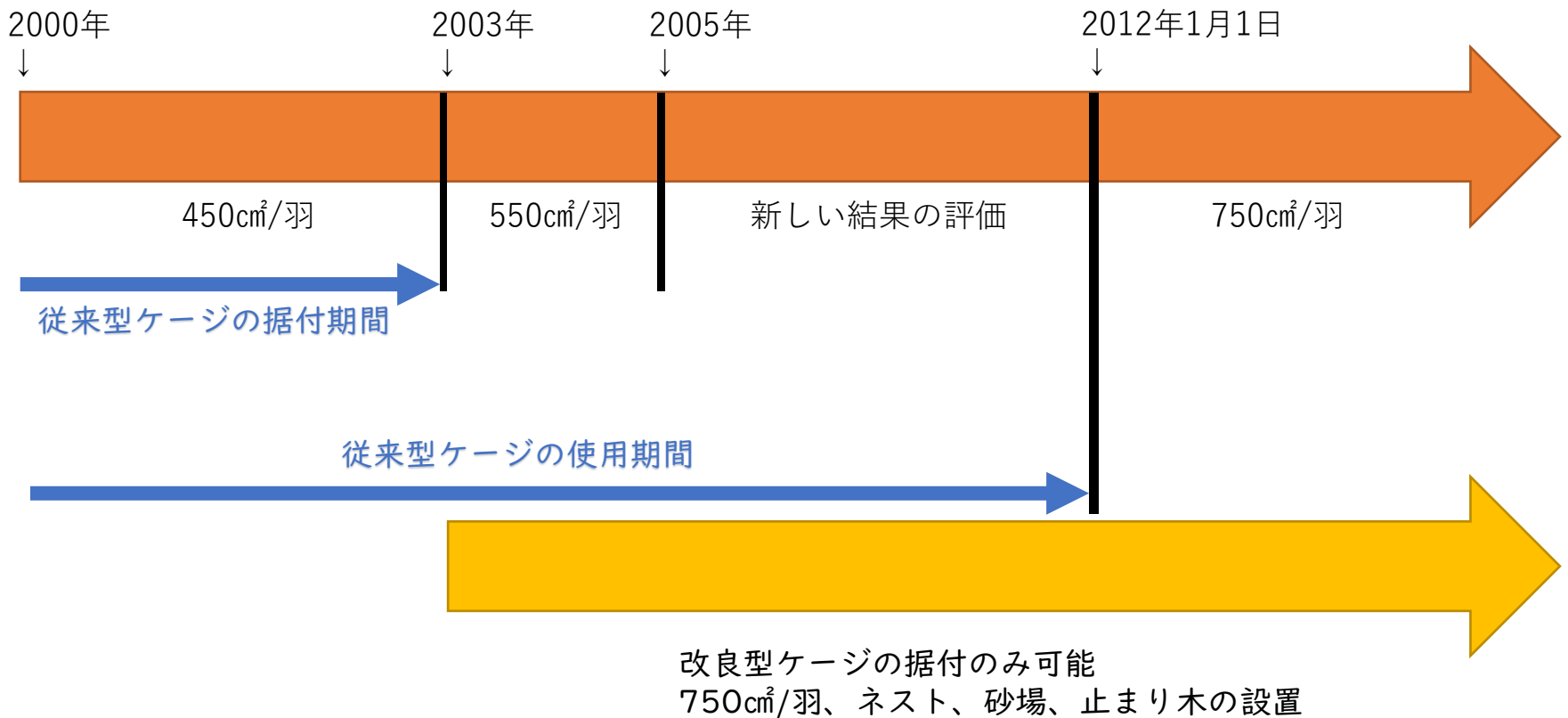


改良型ケージ※又はエイビアリーシステムへの移行
(新規導入への補助金等の支援、
ケージフリー飼養管理基準作成など)

※ 改良型ケージは米国では1%未満（2024）、EUでは約39.7%（2022）減少傾向



EU バタリーケージ規制のプロセス



UEP (米国鶏卵生産者協同組合) のプロセス

2000年代、米国のバッテリーケージ使用率は約90%



2002年：UEP認定バッテリーケージAWガイドライン作成



2006年：UEP認定ケージフリーAWガイドライン作成



2024年 米国で販売されるケージフリー卵 約40%

日本のAW向上のために

- ・ AW実施には今よりコストがかかる
- ・ 今より高くても売れることが必須



その土壌となるのは消費者の購買意識

需要と供給が見合うものでなければ、
産業として成り立たない



日本のAW向上のために

生産者

段階的なAWに配慮した飼養管理の実践

- 適切な給餌、衛生管理や適切な取り扱い等、できるところから始め、継続すること。

消費者および小売業界

消費者への啓発強化及び小売り業界の協力

- 「食の安全」「食育」には、AWの配慮が含まれる。
- スーパー等でAWに配慮した食品を選べる環境に。

農林水産省等

AWに関する科学諮問委員会（サイエンスコミッティ）の設置
AWや不適切な飼養管理等について相談できる機関の設置
AWに取り組む生産者への補助金制度の検討



【5つの自由】

飢えや渇きからの自由

痛み、傷害、疾患からの自由

恐れや苦悩からの自由

不快からの自由

正常な行動を發揮する自由

幸福：精神的、身体的欲求

	飢えや渇きからの自由	痛み、傷害、疾患からの自由	恐れや苦悩からの自由	不快からの自由	正常な行動を發揮する自由
生活の質 高い	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes
生活の質 良い	Yes	Yes	Yes	+/-	+/-
最低限の管理能力					
生活の質 ぎりぎり	Yes	+/-	+/-	+/-	No
生活の質 悪い	+/-	+/-	No	No	No
生きていることが苦痛	No	No	No	No	No

常に

だいたい

稀に

皆無

皆無

十分な管理：福祉が担保
(適切な飼養管理)

管理はぎりぎり：動物にリスク
(不適切な飼養管理)

管理は不十分：動物に苦痛
(虐待)

動物愛護管理法違反

家畜も愛護動物のため、虐待罪の対象

動物虐待のような飼養管理をゼロに

動物の愛護及び管理に関する法律

第6章(罰則) 第44条

愛護動物をみだりに殺し、又は傷つけた者は、五年以下の懲役又は五百万円以下の罰金に処する。

2 愛護動物に対し、みだりに、その身体に外傷が生ずるおそれのある暴行を加え、又はそのおそれのある行為をさせること、みだりに、給餌若しくは給水をやめ、酷使し、その健康及び安全を保持することが困難な場所に拘束し、又は飼養密度が著しく適正を欠いた状態で愛護動物を飼養し若しくは保管することにより衰弱させること、自己の飼養し、又は保管する愛護動物であつて疾病にかかり、又は負傷したものの適切な保護を行わないこと、排せつ物の堆積した施設又は他の愛護動物の死体が放置された施設であつて自己の管理するものにおいて飼養し、又は保管することその他の虐待を行つた者は、一年以下の懲役又は百万円以下の罰金に処する。

3 愛護動物を遺棄した者は、一年以下の懲役又は百万円以下の罰金に処する。

4 前三項において「愛護動物」とは、次の各号に掲げる動物をいう。

一 牛、馬、豚、めん羊、山羊、犬、猫、いえうさぎ、鶏、いებაと及びあひる
二 前号に掲げるものを除くほか、人が占有している動物で哺乳類、鳥類又は爬虫類に属するもの

AWに関する科学諮問委員会設置（サイエンス・コミッティ）の必要性

1. 動物福祉学は日々発展しているため、最新知見を基にAWの科学的評価を更新していく必要がある。
2. AWを犠牲にしない生産の在り方、AWと経済面の両立の検討。
3. 世論等の変化に速やか且つ冷静に対応。 等

AWや不適切な飼養管理等を相談できる機関設置の必要性

1. AWを導入したい生産者のため
2. 不適切な飼養管理を相談できる機関があることで、適切な飼養管理を助言・指導することができる。 等



- 動物の福祉の状態は、科学的に測定できる
- 動物の行動は福祉の指標となる。

科学的評価



動物への負の影響が科学的に立証されたら、それをどうするかをその国のモラル（倫理観）・宗教・文化・経済などで判断。



- 多くの国で動物福祉の省庁や大臣が置かれている。
- 動物福祉に関する法律や条例が制定。

科学⇨倫理・文化・経済等⇨法律



ご清聴ありがとうございました。